

知識科学実習

発想法

第2回

上保 秀夫

先週のおさらい

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

1

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

2

発想法実習の目的

- 効果的な発想法を学び、身につける
- 集団による発想法の注意点を心得る
- 自分にあったやり方を見つける

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

3

発想法って何？

- あるテーマに関する・・・方法
 - アイディアを数多く出す・集める
 - アイディアを整理する
- 代表的な発想法
 - KJ法
 - マインドマップ
 - ブレインストーミング



2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

4

発想法って何？（続き）

- ぱっとアイデアが思いつくことではない
- テーマの要素を理解しながら、アイデアを導くこと
- 要素のタテやヨコのつながりを発見することが大切



2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

5

発想法って何？（続き）



2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

6

ルールのまとめ

- 自由奔放
- 質より量
- 評価しない
- 相乗りする

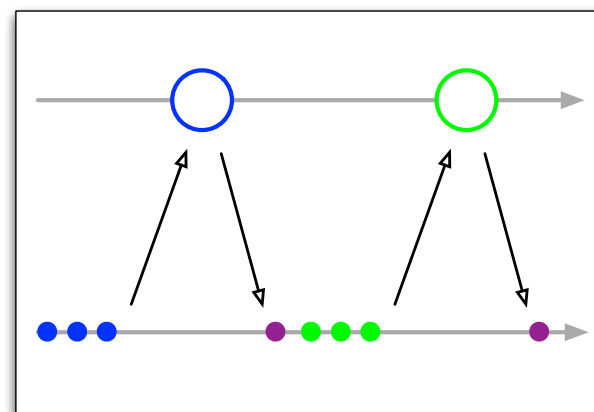
ブレインストーミングでは
このルールを常に意識しながら作業を行う

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

7

思考の上下運動

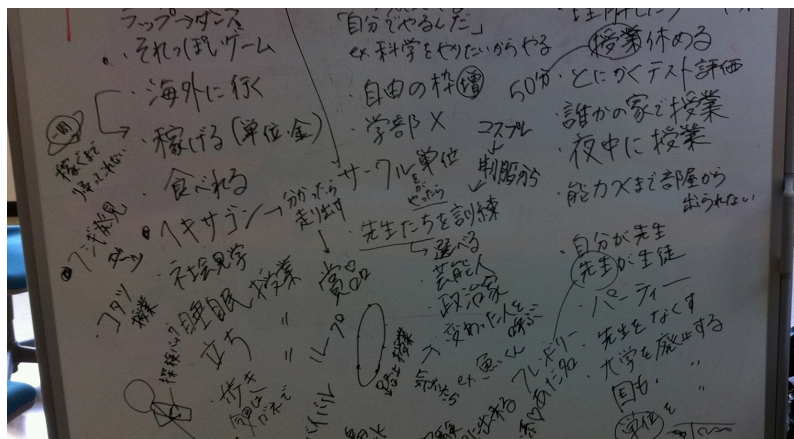


2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

8

課題：アイデアの整理



2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

9

本日の内容

- 集団での発想法の注意点
- マインドマップ
- 前回でたアイデアの整理
 - 傾向の分析
 - アイディアの発展
 - グループ発表

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

10

集団での発想の注意点

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

11

集団作業の能率と生産性

- 一般には集団作業は個別作業の集合より能率や生産性が高いと思われる
- しかし必ずしもそうとは限らない
- 何故か？
 - 集団での作業を妨げる要因がある

2011.5.20

知識科学実習 発想法 (2)

12

思考の干渉

- 人は思考を深化させるためにはノイズを遮断する必要がある
- 議論やディスカッションをやりながら思考を深化させるのは難しい
- 思考が邪魔される

集団思考 (Groupthink)

- 多様な発想が理想である時に、誰かのアイデアに方向性が定まってしまう
- 少数派でいることを嫌い、多数派のアイデアに偏ってしまう
- 外部の考えを遮断してしまう

社会的手抜き

- 集団作業において、自分だけサボってもバレ (影響) ないだろう、という考えが働くこと
- 意識的にやる場合もあれば、無意識的に起こる場合もある

どうすればよいのか？

- 思考の干渉
 - ブレスト中に個人で考える時間を取り入れる
- 集団思考 (Groupthink)
 - マインドマップなどを使って現状を客観的に把握する
- 社会的手抜き
 - 個人の貢献が明確にわかる仕組みを取り入れる